◆ 教育委員会指導主事・スクールソーシャルワーカー(SSWer)の皆さま ◆

参加無料

効果的なスクールソーシャルワーク事業プログラムのあり方研究会
ープログラム導入理解・定着のためのワークショップー

効果的なスクールソーシャルワーク事業プログラム(WEB版)をご活用、あるいは検討していただいているみなさまに、より効果的な活用のための研究会を開催いたします。

今回は、SSW・SVやSSWチーフ、教育委員会でスクールソーシャルワーク担当者の立場にあるみなさまがWEBを活用して定着させるために何が必要なのか、ワークショップを通して解決策を探っていきます。さらに、お困りのことや疑問点を他自治体と共有する意見交流の場を持ちます。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行から、学校現場ではより一層のきめ細やかな子どもへの対応が求められています。この状況下だからこそ、WEBプログラムを活用し、子どもへのケアの実践をより効果的なものに発展させてみませんか。プログラム導入をご検討中の方、活用していただいてる方みなさまのご参加をお待ちしております。この機会に、効果的な支援について一緒に考えていきましょう！

※本プログラムの内容は、国の出した「児童生徒の教育相談の充実について」の報告書や学校教育法施行規則の改正に関する通知文に記載されたSSWの目標や職務内容に反映されています。文科省の全国連絡会でも研修案の1つとして例示されています。

日　時　**2020年8月2日（日）13:00−16:00**　（10:00より受付開始）

※コアメンバーの方は10:30からご参加お願いいたします。

内　容

①スクールソーシャルワーク事業プログラムとはー意義と有効活用のためにー

②各自治体のプログラム活用に関する創意工夫の共有

③各自治体の意見交換

対　象　プログラム活用自治体、プログラムにご関心いただいている自治体
教育委員会SSW担当者、SSW・SV、SSWチーフの方々　ほか

※上記に該当されない方のオブザーブ参加も検討しますので、ご関心のある方は申し込み先までご連絡ください。

開催方法が変更となりました

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえオンライン（Zoom）のみでの開催となりました。
お申込みいただきました方には追って、オンライン開催の詳細についてメールにてご連絡をいたします。

お申込先：eb-ssw@sw.osakafu-u.ac.jp

記載事項：名前・所属・職名・メールアドレス（必ず連絡可のもの）を明記してください。

締め切り：2020年7月19日（日）13時まで

主催：　大阪府立大学　21世紀科学研究センター　スクールソーシャルワーク評価支援研究所

※本研究は日本学術振興会科学研究費補助金「子どもの課題スクリーニングから支援・効果まで循環するシステム構築」（基盤研究A）の助成にて実施するものです。